

HOME

ひろせ事務所通信 [ほおむ]



終活の準備って何か始めてる？



準備した方がいいかなと思うけど、何もしてないわ。



終活とか何となく縁起が悪いし、私はまだまだ元気だから特に必要ないかな。



そうは言っても、もしもの時に備えて何か準備しておかないと残された家族は困るんじゃないかな。



そうね～ 子供らとも離れて暮らしているし、普段からゆっくり話もできていないし、自分のことを何かにまとめておいた方がいいわね。



確かに。私も急に親が亡くなって、どうしたらいいのか悩んだり、何がどこにあるのか分からず困ったわ。子供らにはこんな思いをさせたくないわね。



でも、いざ終活と言っても何から始めればいいのかしら？

終活を始める第一歩 それはエンディングノートです！！

エンディングノートとは終活について頭の中で何となく考えていることを書き出せるノートです。書くのはちょっと面倒だなあと思うかもしれませんが、自分の思いや希望を書くことで、気持ちの整理ができます。書くことによって自分が思っていた以上のことが見えてくることもあります。そして、これからの人生に何が必要か明確になり、遺言など相続に備えて対策することもできます。また、エンディングノートがあることで家族へ思いが伝わり、もしもの時に家族の負担を軽減できるのもエンディングノートのいいところです。終活の第一歩として、エンディングノートを書くことから始めてみませんか。

エンディングノートを書けば

自分に必要なことがわかる

家族に思いが伝わる





相続セミナーで講師を務めました



「家族葬のネクスト」が主催する会員様向けの相続セミナーで講師を担当しました。

タイトルは「やっておいてよかった！相続で明暗を分ける事前の準備」
相続に関する基礎知識と、遺言書の効果、遺言がないとなぜ困るのかについて事例を交えてお話ししました。

日頃、相続手続きのご依頼をいただく中で実感するのが事前準備の大切さです。

では、どのように準備を進めればいいのでしょうか？

私は、実現したい形を思い描くことが第一歩だと考えています。

今回のセミナーでは「あなたにとって幸せな相続とはどんな相続ですか？」という問いを会場の皆さんに投げかけてみました。

ご自身が亡くなったときのことを想像した人、ご自身が相続人になった時のことを想像した人、イメージは人それぞれの様です。

ご自身にとっての「幸せな相続」をイメージしてもらったうえでそれを実現するためにはどのような準備をすればいいのかを考えていきます。

実は、そんな時に役立つのがエンディングノートです。

やっぱりエンディングノートが大事だなと感じた今回のセミナーでした。（廣瀬修一）



司法書士になって1年

豊島です。

私が司法書士登録をして、まもなく1年になります。

登録して最初の数か月は、お客様からご相談いただいてもすぐに答えられないようなことが多かったですが、休日に研修に参加したり、司法書士会開催の無料相談会などに相談員として参加して、色々なご相談に対応しているうちに、少しずつお答えできる幅が増えてきました。

1年経ちますが、まだまだ香川県の司法書士の中では最年少、新しいことをどんどん吸収して皆様から頼られる司法書士になれるよう精進してまいります。

よろしく願いいたします。（豊島大智）



不動産登記 相続 遺言 家族信託 会社設立



ひろせ司法書士事務所

HIROSE JUDICIAL SCRIVENER OFFICE

〒760-0080

香川県高松市木太町 1288 番地 2

☎087-813-9913 ☎087-813-9923

✉info@officehirose.com



ホームページ
officehirose.com